

大阪城

2023
11/20
(月)
14405
号

全港
西成
分會

224
6647-
4947

公園では枯葉が落ち、木々の葉は、紅や黄色に
変わってきて冬に備えはじめている。

東京の国会も、12月30日会期末を見すえて、後半
戦に入っている。先週は、アメリカ・サンフランシスコで
APEC^{エイペック}国際会議で、日中トップ会談や米中
トップ会談があり、一定の話し合いと、競争における
ルール作りが進んだようだ。

国内では補正予算の話し合い、確定と2024年度
の予算案が12月末までには決まるとの予定で、
動いている。そんな中、11/15、池田大作創価学会長
七くたつた。75歳だったという。作家・松本清張の
とりなしで、池田会長と共産党の宮本^{ミヤモト}元委員長が
対談し、公共が仲が良かった時期もあったがその後
自公政権の時代が長く続いている。そして、スマホ、SNS、
デジタル時代に入り、自公にも別々の時が生れはじめて
いる。その流れの中の、池田氏の死であり、自然の大き
な激動も感じさせます。統一教会も裁判での解散
命令請求の中であり、思想・宗教の世界も新しい、
地球変化にあつて、死んで生きている厳しい時節の到
来を感じさせている。今年も一ヶ月少しにせまり、
池田会長の死は、日本仏教思想の世界における
進化・再生と、新しい課題への挑戦を感じさせます。

そろそろ年越しの準備・算段の時期になりました。

11月も後半になりました。現金求人の方も勢いはもう一つのままです。「顔つけ」「直行」と言う具合になってきて、「一見さん」が仕事にありつけるは難しい局面になりつつあるようです。

役所のほうも恒例の「越年無料宿泊所」の準備をしていますが、通常業務の範疇で消化できる規模のようで、ひと昔に比べて隔絶の感があります。要求・課題が変わってきているようです。

2023年度の無料越年事業実施計画、次のとおりです。

- ・事業実施期間：令和5年12月29日(金)～令和6年1月4日(木)早朝
- ・入所施設 あいりんシェルター宿泊棟 入所規模 145人(昨年度実績 138人)
三徳生活ケアセンター 入所規模 75人(昨年度実績 61人)
- ・令和5年度あいりん越年対策事業予算額:14,597千円
- ・委託先：釜ヶ崎支援機構

三徳生活ケアセンター入所は、ケアセンター事業を活用。

事業利用希望者の周知については、12月上旬より、地域内5ヶ所でポスターの掲示や、地域内施設において周知ビラを配布します。

担当 大阪市福祉局生活福祉部自立支援課

(ホームレス自立支援グループ)電話:06-6208-7924